

## 第1回新居浜市レジ袋削減推進協議会議事録

- 1 開催日時 平成20年10月7日(火) 14時から16時
- 2 開催場所 市役所5階 大会議室
- 3 出席者  
(市) 市長、本田課長(ごみ減量課)、亀井係長(ごみ減量課)、長谷川(ごみ減量課)、岡課長(環境保全課)、守長係長(環境保全課)  
(スーパー) ㈱木村チェーン(永山)、コープえひめ(白川)、イオンリテール㈱(前川)、  
㈱フジ(宮岡)、マックスバリュ西日本㈱(渡辺、吉田)、㈱ママイ(帆立)、  
㈱マルナカ(横井)、㈱マルヨシセンター(渡辺、一色)  
(ドラッグストア) ㈱メディコ21(矢野)、㈱レディ薬局(木口)  
(関係団体) 新居浜商工会議所(仙波)  
(消費者団体等) にはま環境市民会議(眞鍋、石塚)、新居浜女性連合協議会(井原)、  
にはま消費者友の会(稲見)

- 4 欠席者  
(コンビニ) サークルケイ四国、㈱ファミリーマート四国ディストリクト、㈱ローソン  
愛媛東事務所  
(ドラッグストア) ㈱大屋マック本部  
(ホームセンター) ダイキ㈱  
(消費者団体等) グループさつき生活学校

### 5 市長あいさつ

本日は第1回のレジ袋削減推進協議会ということで、各事業者、市民の代表の方々、商工会議所を初め皆様にはこの協議会に参加をしていただきお礼を申し上げたい。環境問題の取り組みについては、言うまでもなく、地球温暖化防止、気候変動やCO2削減に対して、我々地球全体で取り組んでいくというテーマであるが、地域に根差したものとしても取り組んでいかなければならないものと思っている。新居浜市のごみ政策、環境政策は、中間処理施設や最終処分場がちょうど寿命を迎えていたため、その更新をすることにこの数年取り組んでいた。ハードの整備を行うことにより、適正に廃棄物を処理していくという取り組みはしていたが、一方、ごみ減量化については、新居浜市の場合、一日一人あたりのごみ量が、他市に比べて多いという現状からごみ減量化をもっと進める必要がある。ごみ減量のためには様々な取り組みがあるが、その一つとして、今市民の皆様には家庭ごみの一部有料化案を説明しているところである。私はごみ減量の政策

で一番望ましいのは、意識が変わることで行動が変わることであると考え。次は法律や条例による制限や制約をすることにより進めていく、三つ目は、一種の経済原理というか、家庭ごみの有料化やレジ袋の有料化などにより大きく行動を変えていくきっかけとなると思う。ただ、市民の皆様は家庭ごみの有料化について説明しているが、ごみ減量を進めていくためには他に、意識の問題、取り組みの問題をもっと進めるべきではないかという意見がある。地域ごとの説明会の中でも、もっとレジ袋を減らしてはという市民の意見も出てきている。レジ袋を減らしていくには、今言った三つの原則による取り組みが必要であるが、前回の準備会の議事録を見ると、新居浜市がレジ袋の使用量が多い、マイバッグ、レジ袋を要らないというのが少ないというのを聞きして、ごみ量の多さと関連づけられているのではないかという気もする。個々の事業者の取り組みだけでは難しいと思うので、行政が中心となって、事業者、市民の皆さんの中で一つのルールを作り、一緒に取り組むことによってレジ袋の削減、ごみの減量化につながればと思っている。各現場で取り組んでいる事業者や消費者である市民の皆さんで意見を交わしていただき、一つの方向性を見出していきたいと思う。我々行政も中心となって取り組みたいという気持ちなので、これからも協力していただきたいと思う。

## 6 自己紹介

事務局、各事業者、消費者団体等順に自己紹介

## 7 規約決定、会長選出

事務局より規約（案）を提示、承認された。

互選により、会長に加藤環境部長（新居浜市）が選出された。

会長不在のため、今回の議事進行は本田ごみ減量課長が行うこととし、協議会は「新居浜市審議会等の公開に関する要綱」に基づき公開とする旨報告。

## 8 設立準備会の開催結果報告

前回の協議会設立準備会で出された各事業者のレジ袋削減の取り組み状況（別表）を事務局より報告

## 9 意見報告

（会長代行）

以上前回の準備会に参加いただいた事業者の取組状況についての報告があったが、今回から参加していただいた(株)メディコ21と(株)レディ薬局の取り組み状況についてお聞きしたい。

（メディコ21）

市内に四店舗あるが、有料化等は実施していない。レジ袋の削減に向けて特に取り組

みはしていないが、この一年間で二回ほどレジ袋の厚さを薄くした。

(レディ薬局)

市内に四店舗あるが、有料化等は実施していない。松山市などの中予地域ではキャンペーンには参加している。現在マイバッグを作成するようなプロジェクトは作っているが、まだ計画段階である。

(会長代理)

前回の報告及び今回新たに参加いただいた事業者の報告について、何か意見や質問はないか。

なければ、事務局から本年7月に新居浜市が実施したアンケート調査にレジ袋の項目も含まれているので事務局から報告してもらい、それを基に意見交換を行いたい。

(事務局)

無作為抽出で市民1,020名に実施(回答率47.35%)した「ごみに関するアンケート調査」の結果を報告した。(別紙のとおり)

(会長代理)

ただいまアンケート調査の報告があったが、何か意見はないか。

(環境市民会議眞鍋)

このアンケートの結果では、若い人の回答数が少ないが、年齢別に均等に送付しているのか。

(事務局)

年齢、性別を均等に送付している。若い世代の回答率が低いということである。

(会長代行)

コープさん、前回の会では東予地区のマイバッグ持参率は低いとのことであったが、アンケート結果を見ると、期待してもよいのではないかとも思うがどうか。

(コープえひめ)

レジ袋をごみ袋で使えるということが、持参率が低い要因であるというのがよくわかる。松山市のように行政と事業者が一緒に取り組むキャンペーンのような意識改革の面での取り組みが弱かったのかなと思った。そのような取り組みをもっと行えば、(レジ袋の削減が)期待できるかなと感じた。

(会長代理)

レジ袋を有料にしても問題はないと前回話しておられたマックスバリュさん、この結果についてどう思うか。

(マックスバリュ)

今日来るに当たり(新居浜店の)直近のデータを調べてきたが、やはりマイバッグ持参率はまだまだ低い結果となっている。

(フジ)

他市の店舗や自治体でこのようなアンケートを取っているが、(レジ袋の有料化につい

て) 賛成と反対が余り変わらないのは珍しい。他の地域では、どちらかと言うと賛成が7割ぐらいある、仕方がないという意見も含めてであるが。賛成と反対が同じぐらいというところからも持参率が低いということの表れではないかと思う。松山市のような行政中心の取り組みをとばして有料化というのはこういう状況では難しいと思う。レジ袋削減のために協議会に参加している事業者の中で有料化しないところが出て、他のところ(店)に行くという人が一割いるとなると正直しんどいかなと思う。実際始めるとそうではないのかもしれないが、足場を固めてから実行する方がいいのではないか。今度山口県で(有料化を)やることとなっているが、山口の店舗では既に30~40%の持参率があり、ステップアップとして行うものである。いきなりは皆さんの抵抗もあると思う、そういう意識が皆さんの中から出てくるのが本来の姿ではないかと思う。

(マックスバリュ)

そういう意見もあると思うが、持参率が上がらないのは、新居浜市の場合ごみ袋としてレジ袋が使えるというのが一番の要因であると思う。これは(家庭ごみの)有料化になれば変わると思う。今まで事業者は、ポイントを付けたり、強化月間で取り組んできたが、残念ながら10年しても15%ぐらいで止まっていた。説明して頭で理解してもらえれば、二割ぐらいまではいけるが、後六割ぐらいの人に取り組んでもらうためには、新たな方法でインセンティブをおこさないと、行動変革まではいかないと思う。後、アンケートの取り方で気になるのは、有料化という言い方で、我々は無料配布中止という言い方をしている。有料化となるとお金を取られるというイメージである、マイバッグを持参するとこれまでどおり無料であり、今回の運動は行動を変えるという運動であり、レジ袋を買うという運動ではない。昔はボールを持って買い物に来ていた、一方過剰包装というのは我々事業者の責任であるが、買い物の習慣を変える運動であると捉えている。マイバッグは、この前も言ったが、箱でも他店の袋でも何でもよいことにしている、そういう視点で取り組みたい。

(コープえひめ)

レジ袋がもらえず、買い物袋を持参しないといけないとなると他のもらえる店に行こうというのがお客さんの心理だとは思う。単独で取り組むのは難しいと思う。そこで、地域の事業者が一体となって取り組むことによって事業が成功したとマックスバリュさんが言われていたが、実際取り組まれたことについてお聞きしたい。

(マックスバリュ)

無料配布について、相生市ではほぼ足並みが揃ったが、広島で実験的にやった時はいろいろあってやらない店も出たが、マックスバリュ系列は全て参加した。結果は、有意な差は出なかった。ただその地域は元々持参率は高い所であったということはあるが、実施した各社共に売上げが落ちたという話は聞いていないし、持参率は全て80%近い数字となった。

(会長代理)

マックスバリュさんの場合は、全国に展開しており、経験もあるが、事業規模が違う事業者もいるが、この地域が中心の事業者の方はどうか。

(木村チェーン)

4月から市内の各店舗で実施した取り組みでも一定の効果があった。環境に対する意識は高まっていると思う。前回の会でマックスバリュさんがこれまでの取り組みの情報をオープンにしていただけると聞いた。皆さんができるだけ一体化して、今後取り組みればと思う。

(マルヨシセンター)

レジ袋の有料化については、遅かれ早かれ、やっていかなければならない流れだとは思いますが、レジ袋がごみ袋に使えるというのが一番問題であり、それをクリアしなければ、前に進めない気がする。

(会長代理)

ごみ袋が(有料化により)指定袋になったとしても、その中に生ごみなどを小袋に入れて使用する場合は、レジ袋は使えるので完全に使われなくなるということはないが、大きい袋はそのまま出せなくなるので必要はなくなると思う。(有料化で)全て解決とはならないかもしれないが、大きな要因にはなると思う。

(マルナカ)

私がこちらに来て、初めに驚いたのは、レジ袋がごみ袋として使えることだった。消費者としては、レジ袋がごみ袋として使えれば、ごみ袋を買うよりいいという意見があると思う。レジ袋がごみ袋として使えなくなれば、レジ袋の削減につながっていくと思う。

(メディコ 21)

(スーパーとは)業界も違うので難しいが、地域としてコンビニや我々も含めて一斉に行うのであればよいと思う。防犯対策や化粧品などの商品があるのでいろいろ難しい問題はあるが、地域として一体となって取り組むことはよいことだと思う。

(レディ薬局)

有料化というのはまだ考えてないが、松山市のように市が中心となったキャンペーンのようなものには参加している。そのような市民への周知が必要ではないかと思う。

(女性連合)

各店まちまちであるが、足並みが揃えば、消費者側としては何の問題もないと思う。アンケートの結果、有料化賛成の方が反対より多いと言うのは、市民の意識も高いのではないかと思う。私個人としては、マイバッグを大、中、小といつも車に入れている。一斉にすれば結構ついていくと思うが、聞いていると消極的なところもあるようなので、そのあたりを調整する必要があると感じる。

(消費者友の会)

個人的な意見であるが、ごみ袋が有料化されてレジ袋が使えなくなると、今家にたくさんあるレジ袋はどうなるのか、またごみとして出すのかなどと考えてしまう。

(環境市民会議石塚)

私は、ごみを減らそう会に入っているが、11月15日にマイバッグフォーラムを開催するので是非参加してほしい。アンケート結果を見ると、有料化賛成と思っていても、もらえるのならもらって、ごみ袋として使おうというふうに動いてしまうという結果が出ているのではないかと思う。それをなんとかするためにもレジ袋削減の取り組みが必要である。有料化については、市内2~3店舗でやるとなると難しいとは思いますが、市内全店舗でやるとなれば、消費者も安心して買い物ができるし、事業者も顧客が減るという心配もなくなるのではないかと思う。私としてはこの協議会を通じて、全店舗が実施していただければよいと思う。

(環境市民会議眞鍋)

レジ袋の定義は何か？プラスチック袋に限るのか、紙袋も含めるのか。地球温暖化の問題から言うと、できるだけ紙袋を使うべきではないかと思うし、プラスチック製のレジ袋削減にもつながると思う。

(会長代行)

容器包装リサイクル法で目標値を義務付けられるのはプラスチック製の袋だけではないのか。

(マックスバリュ)

対象は全ての包装である。ただし、食品に使用する袋が対象であり、特殊な物は対象外となっている。

(事務局)

先ほどから新居浜市でレジ袋が減らない最も大きい理由がごみ袋として使用できるからとの意見が多いので、現在市が考えている有料化と新しい分別区分について説明する。まず、家庭ごみの収集で有料化するのは可燃ごみと不燃ごみだけであり、それらはスーパー等で販売してもらう指定袋での排出となる。資源化できるごみはこれまでどおり無料であり、ビンはコンテナで、缶はネットでの収集となるため、袋は使用できなくなる。そのためレジ袋が使用できるのは、プラスチックごみだけとなるが、プラスチックは量がかさばるためレジ袋で出す人は少ないと思う。指定袋の中袋として生ごみなどを入れるために使う分までは規制できないが、それでもごみ袋としての利用は大幅に減るものと考えている。また、指定袋は通常10枚単位での販売であるが、自治体が指定袋のバラ売りを認めて、レジ袋の代わりに指定袋を販売しているところも増えてきているとのことであり、この件については皆さんの意見もまたお聞きしたい。

(マックスバリュ)

指定ごみ袋はいつから実施する予定か。

(事務局)

21年10月から実施する計画案で市民に説明しているが、いろいろな意見があり、正式な実施時期はまだ決まっていない。

(フジ)

指定収集袋が低い価格では減量の効果が少ないようである。ある程度の価格で実施しているところは、皆さんごみの削減に熱心であり、レジ袋の削減やトレーの店頭回収にも積極的なところが多い。こういうこと（レジ袋の有料化）をやるにしても、ごみ袋の有料化後もしくは有料化に合わせてでないといけないのではないかと思う。

(会長代理)

いろいろな意見が出た。今までのところは、事業者側も消費者側も地域一体で取り組んだ方がよいという意見だと思う。本日事前に「レジ袋削減に関する協定等に関するアンケート調査」をお配りしているが、アンケートで意見をまとめたいと思う。

(事務局)

協定等どうするかとなると、出席者個人の考えでは結論は出しにくいと思うので、事業者、消費団体等に持ち帰って、事業者、団体等の考えとして答えていただきたい。このアンケート結果をまとめて、今後の方向性について次回検討したい。

(マックスバリュ)

四国でこういう協議会をしているのは新居浜市だけなのか。

(事務局)

四国ではわからないが、県内で協議会として取り組んでいるのは新居浜市だけと思う。協議会ではなく、松山市のように3市3町の広域でキャンペーンをしているところはある。

(フジ)

松山市は何年か前から継続して取り組んでいるが、以前は10数パーセントで、今の新居浜市と同じぐらいであったが、キャンペーンをきっかけに毎年上がってきている。新居浜市は、県下で最低で現在13～14%で、中予地区は22～23%、南予地区は、ごみの指定袋にしているところが多く、27～28%となっている。やることは無駄ではないが、協定ありきは避けてほしい、協定ありきでは失敗する可能性が高い。先日も関東の方でチェーンストア関係の会議があつて参加したが、そこでも協定ありきの場合は、協定を結ぶことが目的になると何を指しているのかがわからなくなるという話があつた。協定を結んで全員が足並みを揃えて取り組むためのものであればよいが、協定を結ぶことが目的になってしまうのはどうか。各地区で協議会のようなものがたくさんできているがそういうことが見られるところもある。また、協定の中身が京都方式のようなものであれば、幅が広くて有料化するのも難しい。今の取り組みは、業種も違うし、会社で取り組みが進んでいるところとそうでないところもあるような状況の中で、全部有料化という難しい。

(マックスバリュ)

コンビニエンスストアとスーパーマーケットと一緒にやれるかということ、上部団体との関係もあり難しいとは思いますが、同じ業界で100%は無理でも過半数~70%がまとまれば、ゴーをかけてもよいのではないかと。協定の中身というのは三者が何をやるのか、市の役割、消費者団体、事業者の役割、それぞれの立場で市民の皆さん、我々からするとお客様にいかにかマイバッグ持参運動を進めていくか、レジ袋の無料配布を止めるのであれば、何のために止めるのか、いつから止めるのか告知をいかにかやっていくのかということである。経験値で言えば、何をやるかという合意ができて、協定が結ばれば、二か月あれば概ね今までのところは全部出来ている。キャンペーン等をしているところはそれでもよいが、やっていないところでも協定を結んで二か月あれば相当の活動ができる。

(フジ)

二か月というのは相当な下準備をした上のものであり、マックスバリュさんは経験もあるのでできるかもしれないが、今までやってない事業者には簡単なものではない。

(マックスバリュ)

それは、我々も情報は全て解放しますと言っている。

(フジ)

解放しても資金力も違えばなかなかできない場合もある。実際、ある地方で実施する際に、ローカルなチェーン店では、レジの設定変更でも資金的に難しいというところもあった。市民の意識も変わらないとなかなか難しい。やるのであれば文書で協定書を作りましょうということではなくて、例えば市民団体や環境団体などが我々と一緒に店頭に出立ちましょうというぐらいの盛り上がりがないと、今の新居浜の状況では難しいと思う。やるのは簡単であるが、長続きするものにするには、それなりの準備と覚悟がないとできない。

(コープえひめ)

マックスバリュさんもフジさんも他でやっているからわかると思うが、我々今まで全くしていないところになると、準備をすと言っても何を準備したらいいのかもわからない。いろいろなところでやっている先進事例というのを教えてほしい。協議会で進めていくための具体的に向かう指針のようなものがないと、今の議論になかなかついていけない。いろいろなやり方を知った上で、新居浜市としてどういうやり方でやっていくかを考えたらよい。

(会長代理)

環境省が全国の地域の取り組みをまとめた表があるが、具体的な課題とかは出ていないので、あまり参考にはならないと思う。いろいろな事例という意味では、前回お配りした雑誌の資料ぐらいしかない。やり方や足並みの揃え方にはいろいろな考え方はあると思うが、アンケートで整理していただく意味でもアンケートへの協力はお願いしたい。

(マックスバリュ)

現段階でやれるならやりたいという事業所はどのぐらいあるのか。

(コープえひめ)

足並みが揃えば。

(木村チェーン)

前回の準備会でも話があったが、できるだけ一体化しようということに皆さん賛同したと思う。資金的な問題ではなく、いかにレジ袋を減らすかということを見ると、有料化も一つの案であると思う。私のところでは、環境市民会議や市と一緒に取り組んで成功した事例もある。問題点が違うのではないのか、レジ袋をどうやって減らすかという問題、ごみ袋の有料化の問題など含めて、トータル的にマックスバリュさんの意見に賛同する。

(マックスバリュ)

私どもの方で持っている資料を市に送りますでしょうか。必要な方は市に言ってもらってもらえればと思う。

(会長代理)

お願いします。

(環境市民会議眞鍋)

資料だけでなく、成功例の具体的な生の声をお伺いするチャンスがあってもよいのではないか。

(木村チェーン)

前回、市の方からは全面的な広報や周知するためのバックアップはしたいとの話があったが、それは必要だと思う。

(事務局)

市としては必ず協定が必要であると考えている訳ではない。ただ、キャンペーンは別として、民間の事業者に対してのぼりを作ったり、広報したりするとなると協定書のようなものがないと支援が難しいということもある。業種によって最終の取り組みは異なるかもしれないが、市としては全体でレジ袋が削減できるような方向でいきたい。有料化がなじむ業種もあれば難しい業種もあると思うが、そのあたりも含めてアンケートに答えていただければ、次回までにまとめたい。

(環境市民会議石塚)

私は横浜に行ったり来たりしているが、横浜の住宅街のある店はレジ袋がいる人は10円と決めており、消費者は何の抵抗もなく、それならマイバッグを持っていこうかという単純なものとなっている。ただ、持ってきていない人には、10円を払わせるのではなく、段ボールを使って詰めて帰ってもらっているという状況である。そういう意味では、そんなに大変なものではないという感じがする。アンケートで前向きな方向に進んでいければと思う。松山市の友人もこの協議会に関心を示しており、新居浜がうまくいけば

見習いたいと話している。

(マックスバリュ)

事業者がまとまるよう行政にお願いしたい。それと無料配布を中止した場合は、今後はスタートと同時にポイント制も中止していきたいと考えている。今までやったところはポイントを続けているが、インセンティブとなっていないのに、ずっと残っていく。

(フジ)

マックスバリュさんの言うように、当初はレジ袋削減のために、ポイントは後押しするための制度だったのが、今は当然の権利、サービスとなってきている。仮に無料配布中止となれば、企業としては辞退する8割の人にポイントを与えるのは難しいと思う。

(女性連合)

レジ袋が一番使うのはスーパー関係だろうと思う。スーパーの皆さんはお互いライバル関係であり、なかなか意識統一するのは難しいとは思いますが、ただ単に有料化ということではなく、地球温暖化という視点に立ってほしいと思う。ある面では消費者の方がその必要性を強く感じており、主婦の立場としては、あそこはレジ袋が有料だから行くのをやめようかと考えるかもしれないが、有料化を一斉にすれば、5円でも10円でももつたないので必然的にマイバッグを持っていくようになると思う。

(商工会議所)

最近新聞で見たが、松山市のような広域的な取り組みが必要であるということと、インセンティブも多少必要ではないかと感じている。

(会長代理)

いろいろな意見が出たが、できれば足並みを揃えていく方向で、行政としても調整をすべきところはしたい。なるべく統一的な方向で進めるようにアンケートなども見させてもらい、調整したい。また、今は予算的な準備もできていないので、この動きに合わせて獲得できるようにしたい。アンケートの回答については、10月末までをお願いしたい。

## 10 その他

- ・商工会議所よりエコ検定についての概要説明と受験案内
- ・11月15日(土)開催予定の「マイバッグフォーラム in 新居浜」の案内
- ・次回の協議会は、11月27日(木)14時~16時、清掃センターで開催予定